

つづき

津付ダムだより

付替国道2号橋

上部工製作架設工事

契約締結

津付ダム建設予定地の下流部に、平成20年度から着手していた付替国道2号橋梁の下部工(2基の橋脚工)工事が完成し、いよいよ上部工製作架設工事に着手します。

当工事については6月県議会にて議決を受け、7月9日に契約を締結し、平成24年9月までの予定で工事をします。

◎2号橋梁の概要

- ・橋長 153メートル
- ・幅員 8メートル
- ・形式 3径間連続PCラーメン箱桁橋
- ・架設方法 場所打ち張出し工法



(付替国道2号橋完成予想図)

発行所

沿岸広域振興局土木部
大船渡土木センター
津付ダム建設事務所

お問い合わせ先

〒029-2311
気仙郡住田町世田米
字川向 102-1
TEL 0192-22-8182
FAX 0192-46-3715

津付ダム公式ホームページ
<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>

気仙川アユ釣り解禁

7月1日(木)、気仙川のアユ釣りが解禁されました。前日から降っていた雨により水量が増え、濁りも多少ありましたが、県内外から訪れた釣り人で、早朝からにぎわいをみせていました。



(7/2 釣りの様子ー住田町昭和橋付近)

質問コーナー

(質問) 30年確率の事業費と比較すると、「津付ダム+河川改修」は164億円、「河川改修単独案」では94億円となり、河川改修単独案が有利ではないのですか？

なぜ70年確率の計画で比較し判断するのでしょうか？

(回答) 気仙川の治水対策は、流域の人口や資産状況及び県内主要河川とのバランスを考慮し、最終目標の治水安全度を70年確率とし、ダムと河川改修を組み合わせる計画として「気仙川水系河川整備基本方針」を平成16年に策定しています。この「基本方針」の達成には、多くの予算と時間を要することから、段階的に整備する事としています。

段階的整備の計画として、今後20年程度の整備を目標とした「気仙川河川整備計画」は、治水安全度を概ね30年確率とし、ダム下流全川にわたり水位低下の効果がある津付ダムを先行して整備することとしています。

気仙川水系河川整備手法比較表の説明

津付ダム日より平成22年6月号(第14号)では、事業効果発現の項目のうち、確率規模別の完了予定年度及びB(便益)－C(コスト)＝純現在価値について着目しました。

今回は事業効果発現に関する評価について、比較します。

(ダム＋河川改修案→津付ダム建設と河川の改修を組み合わせる案)をA案、(河川改修単独案→河川の改修のみで対策する案)をB案として比較し、優位な案に○を付して表現しています。

		(ダム＋河川改修案) A案		(河川改修単独案) B案	
事業効果発現	1/30	完了予定年度 H37 (16年後) B-C 6,546百万円 (B/C 1.44) (算定基準年はH20年度)	○	完了予定年度 H69 (48年後) B-C 5,807百万円 (B/C 2.31) (算定基準年はH20年度)	△
	1/70	完了予定年度 H116 (95年後) B-C 7,979百万円 (B/C 1.45) (算定基準年はH20年度)	○	完了予定年度 H161 (140年後) B-C 6,456百万円 (B/C 2.17) (算定基準年はH20年度)	△
	事業効果発現に関する評価	・ダムが完成すれば、ダム下流全川が水位低下し安全度が増すので、事業効果が全川にわたり発現。		・河川改修は、基本的には下流から改修を行います。完成した区間のみの安全度が増すので、事業効果の発現が限定的。	

表中のA案については、津付ダムが完成することにより、ダムより下流の河川の水位が低下するため、安全度が増すこととなり、事業効果が全川にわたり発現されます。

津付ダムの完成年度は、平成30年度前半を予定していますが、ダムの完成が早ければ早いほど効果が早く現れることとなります。

表中のB案については、河川改修が完成した区間は安全度が増しますが、完成した区間のみ効果が現れるので、事業効果の発現は限定的なものとなります。

完了予定年度、B(便益)－C(コスト)＝純現在価値、事業効果の発現の各項目を比較し、A案が優位ということで、○印をつけて整理しています。

次号からも引き続き「気仙川水系河川整備手法比較表」の項目について、説明を行っていきたいと思います。

公式ホームページ

津付ダムの公式ホームページは、下記のアドレスで、ご覧いただくことができます。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>

河川等の急激な増水にご注意願います。

時間雨量が数十ミリに達するような、局地的かつ短時間に強い雨を降らせる「局地的大雨」が、近年多くなっています。河川や用水路等の急激な増水に注意しましょう。